

## SACISIS2004 進捗 ( 2003/08/22 )

2003/08/22

富士通研 木村

ykimura@jp.fujitsu.com

### 1. 前回の打ち合わせ ( 6/19 ) 以後の ML での議論のまとめ

#### 1.1. 参加費について

- ・ 参加費を SACISIS2002 から , 3000 円アップ ( 学生は , 1000 円アップ ) に変更した . 従来から JSPP でも地方開催の場合に用いていた価格体系を採用 .
- ・ 予算案の改善が主目的 .

#### 1.2. 発表論文の別刷について

- ・ 発表者には , 別刷が無料で 100 部贈呈となっていた ( JSPP 時代から ) .
- ・ 学会によれば , 無料なのは JSPP/SACISIS くらいで , 他は希望者に有料で印刷することになっている .
- ・ SACISIS2003 でも , 他シンポジウムに倣い , 希望者に有料で頒布することにする .
- ・ 価格は , 1 部 150 円で , 50 部以上申込を条件としたい . ( これは , 実費より少し利益が出る程度の設定 . )
- ・ ちなみに , SACISIS2002 での別刷り費用は , 54,432 円だった .

#### 1.3. 共催/協賛関係について

- ・ 以下の研究会へ依頼した ( 括弧内は 8/19 時点での回答 ) .
  - 計算機アーキテクチャ研究会 ( )
  - システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会 ( ? )
  - ハイパフォーマンスコンピューティング研究会 ( ? )
  - プログラミング研究会 ( )
  - アルゴリズム研究会 ( ? )
  - データ工学研究専門委員会 ( × )
  - ディペンダブルコンピューティング研究専門委員会 ( 協賛 )
  - コンピュータシステム研究専門委員会 ( )
- ・ データ工学研究専門委員会の対応に関する ML での議論
  - ◇ JSPP から SACISIS に変える際に , マンネリを打破しようというのもあったので , 一つの目的を達してはいる .
  - ◇ 先方の事情 ( 他にもシンポジウムを活発にやっている , SACISIS に共催等で入ると論文査読などの負担が発生する ) などを考慮すれば , 致し方ない面もある .
  - ◇ ただ , SACISIS になって , 並列だけでなく , 守備範囲を広げたつもりなのに , データマイニング系や Web 系の論文が入らなくなる可能性があるのは残念 . こういった新しい分野を積極的に取り込むのも , SACISIS の目的だったはず .

◇ 共催，協賛の有無に関わらず，新しい分野の論文を取り込む工夫が必要．

1.4. 学会への開催願いについて

- ・ 7/18 に学会に提出（松原総務委員長より）．
- ・ 7/19 に CS 領域委員会の ML に上がる．
- ・ その後の経緯は学会に確認中．

1.5. WEB の管理について（特に英語版）

- ・ そろそろ SACSIS2003 の WEB を立ち上げたい．
- ・ 今回は，英語版も充実したい．

1.6. 会場費について

- ・ 部屋を借りるだけなら，50 万円程度．
- ・ ただし，マイク，スクリーンなど備品を使うと，最大で 150 万円程度になる．現在の予算案では，会場費は全部で 100 万円．
- ・ 今後，絞込みが必要．液晶プロジェクタは持ち込みが必要か（可能か）．

1.7. 懇親会の会場について

- ・ 学会会場では，場所の関係で懇親会を行なうのは困難．
- ・ 札幌市内まで戻って，どこかのホテルで行いたい（会場から市内まで地下鉄で 10 分程度）．
- ・ 懇親会会場の使用と宿泊代のリンクを考えてみたが，それほどの効果はなさそう．
- ・ 会場費の詳細と懇親会会場を決めるため，一度，札幌に行く必要があるか．

1.8. IEEE からの補助について

- ・ 山名先生から，IEEE Japan Chapter の共催（？）にすると補助が出るとの情報．
- ・ IEEE の ML を利用しての参加案内なども可能．
- ・ ただし，IEEE として（？）何かの行事をする必要がある．
- ・ 木村私案として，D3 特集に絡ませて，入賞すれば，旅費の片道くらいは出る賞金を出したらどうか．
- ・ また，かつて JSPP に併設していた，「並列プログラミングコンテスト」のようなものを復活したらという意見もどこかで聞きました．これを IEEE の行事にすることも可能かもしれません．

2. 招待講演，その他催し物について

2.1. 招待講演，基調講演（テーマ，その他）

- ・ 林チュートリアル委員長より，以下の紹介があった．
  - SACSIS の基調講演ですが、最近 Phase II が発表された DARPA の HPCS はどうでしょうか。

<http://www.darpa.mil/ipto/research/hpcs/vision.html>

Phase II には Cray と IBM と Sun が選ばれたので、必要なら Sun Lab から

人を呼びます。

- ・ 私個人の希望としては、招待/基調講演のうち、一つは従来通り、伝統的なアカデミックなもの、もう一つは、企業人が興味を持ちそうなものにしたい。
- ・ セールストーク的な言い方になりますが、このところ非常にマスコミなどを賑わしている社会基盤システムの安定稼働などをテーマにした話ができる方はいないでしょうか。
- ・ 引き続き、提案をお願いします。

## 2.2. 国家プロジェクト特集

- ・ 大学、企業にいろんな意味で公的資金が入っている。NEDO、IPA、その他...(他にあれば、教えてください。)
- ・ これらのテーマの進捗、結果などを報告するセッションを設けたらどうか。国家プロジェクトの場合、成果の外部発表を義務つけられているところも多いので、良いチャンスを与えることになるかと期待。
- ・ 通常の査読を行なうか、同時並行型の独立セッションのように見せるかは検討課題。
- ・ 査読するなら、それなりの成果が必要(プロジェクトがある程度進んでいることが必要)。中間報告や「これからこうやります」というレベルなら、別枠の発表会にするしかないだろう。
- ・ 企業からの参加を増やす一つの手段としても期待(本当か)。
- ・ まず、候補をリストアップし、その内容、レベルを見て、方針を決める。

## 2.3. D3 特集

- ・ 趣旨は学生さんにより発表の機会を与えることである。実施方法として、例えば以下の2つを考える。
  - 博士(後期)課程、あるいは修了2年以内程度の学生(ポスドク)を対象とし、自分の研究テーマの内容(これに限定はしない)を講演してもらう。優秀者には、IEEE から賞金。
  - 対象をひろく学生全般に広げ、自分の研究テーマを喋ってもらう。優秀者にはIEEE から賞金。
- ・ いずれの場合も、著名大学教授、企業研究者を招待し(費用は自己負担)、コメントをして頂く。
- ・ また、論文の完成度よりは、斬新さ(crazyさ?), 将来性などに注目したい。
- ・ 指導教官の先生は嫌がるでしょう。
- ・ 博士修了以前の学生の場合、論文ネタを論文にする前に喋ることに対する抵抗があるでしょうか(特に )。
- ・ 通常の査読を行なうか、別枠セッションにするかは検討要。ただ、学生の立場にすれば、「査読付き論文」が増える方が嬉しいでしょう。
- ・ そもそもこんな企画に積極的になる学生がいるでしょうか。

## 2.4. その他

- ・ チュートリアルは、学生が興味を持つかどうかをテーマ決定の判断基準にしたい。
- ・ ポスターの会場は、SACIS2002 の約 1.5 倍程度ある。件数をもう少し増やすことも可能かも。
- ・ パネルディスカッションは考えていないが、国家プロジェクト特集や D3 特集が頓挫した場合には、代替として考えたい。
- ・ 会場は終夜予約しているので、BOF や個別のワークショップを開催することは可能（ただし、原則として組織委員会は会場を貸すのみで運営には関わらない）。

## 3. その他、私が 8/22 に議論したいと考えていること

### 3.1. PC 関係

#### 3.1.1. 論文種別

#### 3.1.2. ACS 論文誌との連携

#### 3.1.3. PC 構成方法（研究会，ACS）

#### 3.1.4. 募集～査読～採択日程

### 3.2. 広報関係

#### 3.2.1. WEB サイト設定

#### 3.2.2. CFP ラフスケッチ

#### 3.2.3. CFP アナウンス日程

以上